

仕 様 書

1 概要

名越クリーンセンターのごみ焼却施設は、ストーカ式焼却炉 75 t / 日 × 2 基を有する施設であり、施設稼働は、1 炉を令和 6 年（2024 年）12 月末に停止し、もう 1 炉を令和 7 年（2025 年）1 月中旬に停止する予定である。なお、ごみの搬入は、令和 7 年（2025 年）1 月初旬に停止する予定である。

これに伴い、閉鎖業務の現場作業は、各設備が停止後順次着手し、工期を令和 7 年（2025 年）3 月 31 日とするが、工期短縮に努めること。

また、住宅地と隣接していることから、騒音・振動・粉塵の飛散及びダイオキシン類のばく露についても万全の対策を講じた上、各設備について業務を行うこと。

2 業務名称

名越クリーンセンター焼却施設閉鎖業務委託

3 業務場所

神奈川県鎌倉市大町五丁目 11 番 16 号

4 契約期間

契約締結日から令和 7 年（2025 年）3 月 31 日まで

5 業務内容

施設停止後の清掃及び搬出車両への積込を行う。詳細は、次の各号のとおりとし、別紙図面を参照のこと。

(1) ごみピットの清掃

ア ごみの搬出（想定残量：120m³）

ごみは直接又は袋詰めしたごみを、ごみクレーンを使用し、マシンハッチから搬出車両に積み込む方法を基本とする。ただし、バックホウ等の重機を使用し直接コンテナに積み込む場合は、運搬業者と協議の上、接触による損傷等のトラブルが無いように努めること。

なお、搬出車両による運搬、処分は本業務に含まない。

イ 搬出車両へ積み込み

ウ ピット壁・床の高圧洗浄

ピット壁の洗浄は、床面から 3 m までとする。ただし、3 m よりも高い位置にごみの付着がある場合は、発注者と協議の上、可能な限り除去すること。

エ ごみピット汚水槽（中間層含む）清掃

オ 槽内安全装置設置

カ 仮設足場組立、解体

- (2) 灰ピット内清掃
 - ア 残置物（混合灰）除去及び清掃（想定残量：28.2m³）
 - イ 搬出車両へ積み込み（灰クレーンの使用可）
 - ウ ピット壁・床の洗浄
 - エ 槽内安全装置設置
 - オ 仮設足場組立、解体

- (3) 焼却炉、ガス冷却室、空気予熱器及び減温塔清掃
 - ア 残置物（クリンカ・主灰・飛灰等）除去及び清掃
 - 焼却炉（想定残量：20m³）
 - ガス冷却室（想定残量：10m³）
 - 空気予熱器（想定残量：10m³）
 - 減温塔（想定残量：15m³）
 - イ 安全対策
 - ウ 仮設足場組立、解体

- (4) ろ過式集塵器清掃
 - ア ろ布抜き取り及び場内保管（1,120本）
 - イ リテーナー解体
 - ウ 飛灰等除去及び清掃（想定残量：15m³）
 - エ 安全対策
 - オ 仮設足場組立、解体

- (5) 煙突頂部閉止板取り付け
 - ア 閉止板取り付け（材質 SUS304 風で外れないもの）
 - イ 安全対策（90mH×頂部φ0.74m×2基）
 - ウ 仮設足場組立、解体

- (6) 各搬送コンベア内清掃
 - ア 残置物の除去及び清掃（想定残量：15m³）
 - イ 各マンホール開放・閉止
 - ウ 安全対策
 - エ 仮設足場組立、解体

- (7) 灯油タンク内部清掃
 - ア 残留物の除去及び清掃（想定残量：1,000ℓ）
 - イ 安全対策
 - ウ 仮設足場組立、解体

- (8) 各排水槽内清掃
 - ア 残留物の除去及び清掃

- イ 各マンホール解放・閉止
- ウ 安全対策
- エ 仮設足場組立、解体

(9) 各薬品槽内抜き取り清掃

ア 残留物の除去及び清掃

アンモニアは 18ℓポリ容器に入れて保管。特殊反応助剤、消石灰及び活性炭はビニール袋に入れ、フレコンバックに詰めて保管。

特殊反応助剤（想定残量：1.5t）

消石灰（想定残量：5t）

活性炭（想定残量：1.5t）

アンモニア（想定残量：4t）

イ 保管方法

特殊反応助剤：ビニール袋に入れ、フレコンバックに詰めて保管。

消石灰：ビニール袋に入れ、フレコンバックに詰めて保管。

活性炭：ビニール袋に入れ、フレコンバックに詰めて保管。

アンモニア：18ℓポリ容器保管。

ウ 各マンホール解放・閉止

エ 安全対策

オ 仮設足場組立、解体

(10) 残留廃棄物処分に必要な分析

汚泥：ごみピット、灰ピット、排水槽 計3検体

ばいじん：焼却炉灰、バグフィルター灰×各2 計4検体

6 適用範囲

本仕様書は、業務の基本的内容について定めるものであり、本仕様書に明記されていない事項であっても、業務の目的達成のために当然必要なものについては、本仕様書に明記されていない事項でも、受注者の負担で実施すること。

7 提出図書等

次の各号時に必要書類を提出すること。

(1) 契約締結後

ア 現場代理人届及び主任技術者届

イ 工程表（契約日から工期末日までの工程）

ウ 着手届

エ 施工体制台帳

オ 施工計画書（廃棄物処理計画含む）

カ その他関係書類

(2) 施工中

- ア 日報（着手日から完了届提出日まで）
- イ 施工予定

(3) 完了後

- ア 報告書
- イ 写真（施行前、施行中、施工後）
- ウ 廃棄物処理委託契約書等（産業廃棄物管理票含む）
- エ 分析結果報告書（計量証明書など）
- オ 完了届書
- カ その他関係書類

8 施工管理

施工管理を次の各号のとおりとする。

(1) 窓口

受注者は、その窓口を一つにまとめること。発注者と受注者は、相互に責任者を設定し、業務の円滑な運営を行うこと。

(2) 作業区域

資材置場、作業場所及び現場事務所は、本施設用地内であって発注者が指定する範囲内に確保すること。

(3) 現場代理人

受注者は、現場管理の責任者として、現場代理人を定め、又業務現場における業務管理を担当する主任技術者等を定めること。なお、現場代理人及び主任技術者等は、これを兼ねることができる。

(4) 作業時間

作業時間は労働基準法によるものとする。また、具体的な現地作業時間は事前に発注者と協議し決定すること。

(5) 労働災害の防止

安全対策を十分行い、又作業従事者への安全教育を徹底し、労務災害の発生がないように努めること。なお、停止中の焼却炉と運転中の焼却炉は隣接しているため、作業者の火傷、ケガ又は運転中設備の緊急停止等を起こさないよう十分注意すること。

(6) 現場保全

資材の搬入、管理及び現場事務所の管理等については発注者と十分協議し、常に整理整頓を心がけ、火災、盗難等の事故の防止に努めること。業務に必要な仮設用水及び仮設電気は発注者と協議の上、施工計画書を作成し承諾を得ること。

(7) 復旧

既存物件の損傷防止に努め、万一損傷、汚損が生じた場合は、受注者の負担で速やかに復旧すること。

(8) 公害防止

関連法令等を遵守した上で、国土交通省指定の排出ガス対策型建設機械、低騒音型建設機械及び低振動型建設機械の採用に努める等、近隣への影響軽減に配慮すること。

(9) 施設運営との調整

現場業務着手時には、1 炉が運転中であるため、施設運営を優先すること。また、発注者及び維持管理業務者と毎日朝礼で連絡をとり、連携を図ること。

(10) 工期

可能な限り短縮を図ること。

9 廃棄物及び再生資源

本業務により、処分すべきものについては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、適正に処理処分すること。

10 ダイオキシンのばく露対策

廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策について（平成 13 年 4 月 25 日基発第 401 号の 2）を遵守すること。

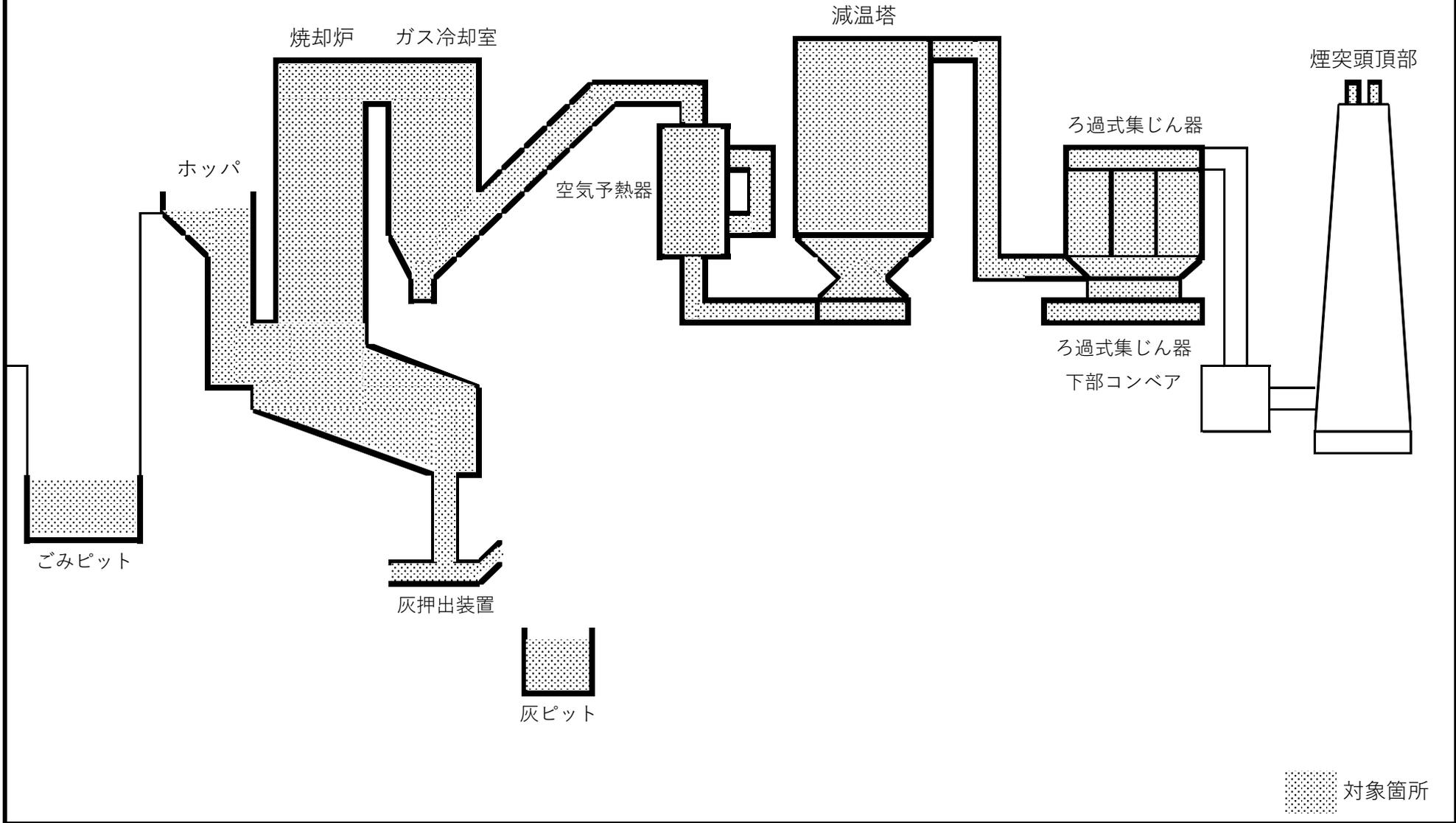
11 関係法令等の遵守

本業務の設計施工にあたっては以下の他、関係法令、規則、規格、条例、基準、指針等を遵守すること。

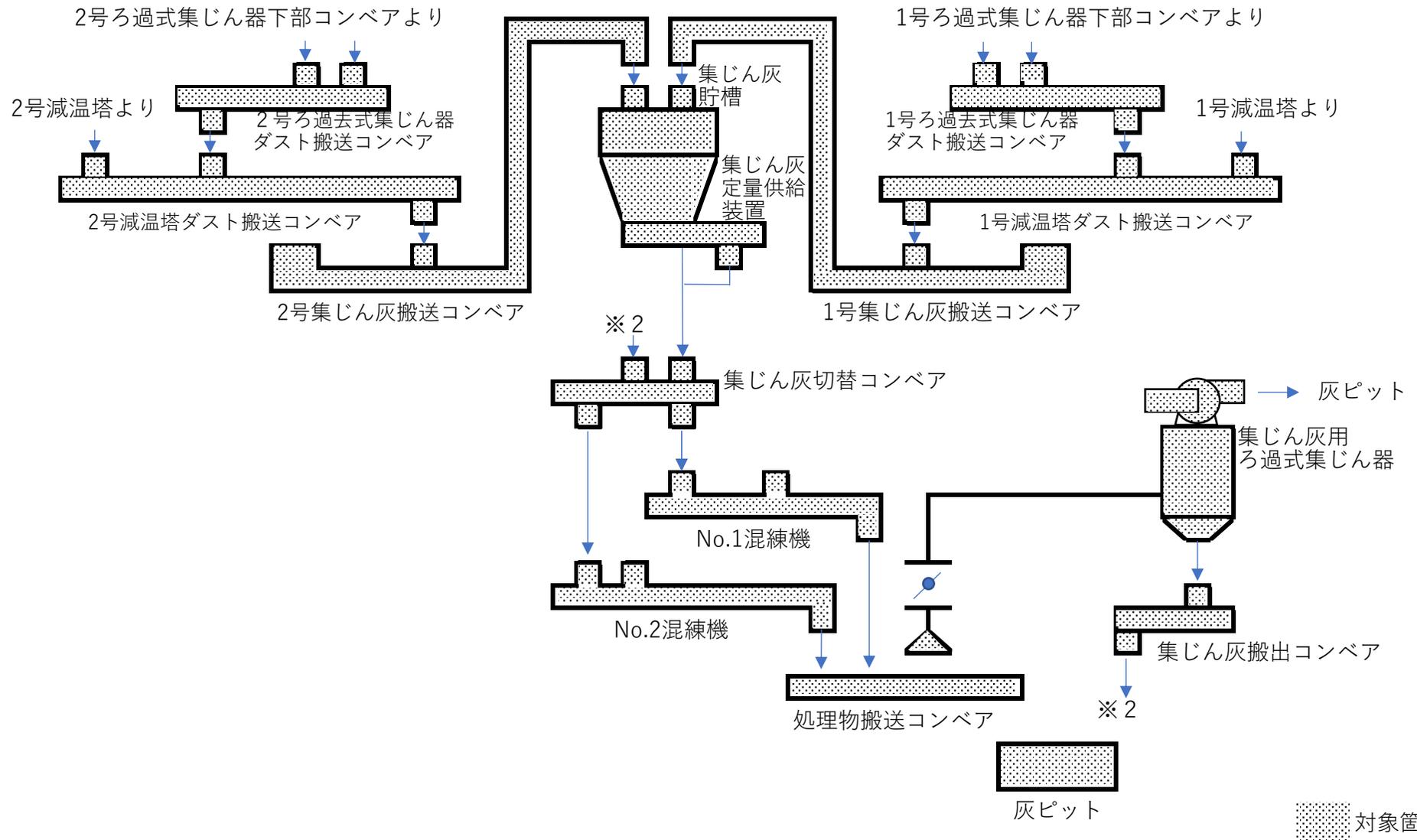
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ ダイオキシン類対策特別措置法
- ・ 建築基準法
- ・ 建設業法
- ・ 大気汚染防止法
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 悪臭防止法
- ・ 下水道法
- ・ 消防法
- ・ 航空法
- ・ 労働基準法
- ・ 労働安全衛生法

- ・計量法
- ・高圧ガス保安法
- ・危険物の規制に関する政令
- ・環境影響評価法
- ・電気事業法
- ・電気工事士法
- ・ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン　ーダイオキシン類削減プログラムー
- ・鎌倉市の関連条例及び規則

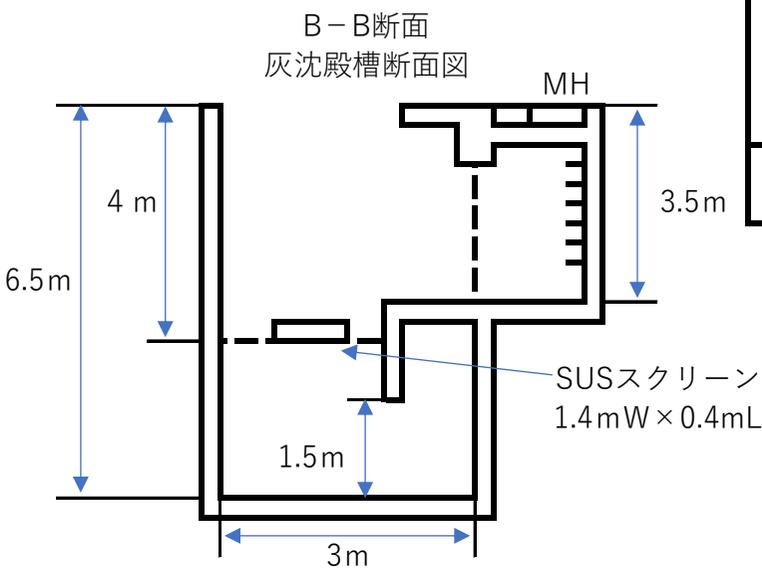
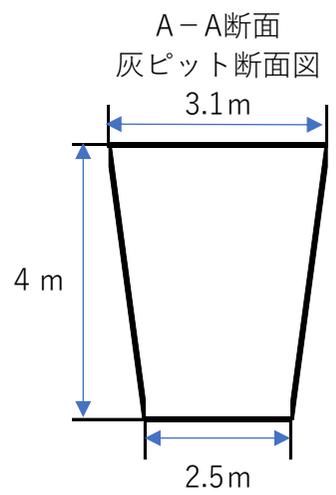
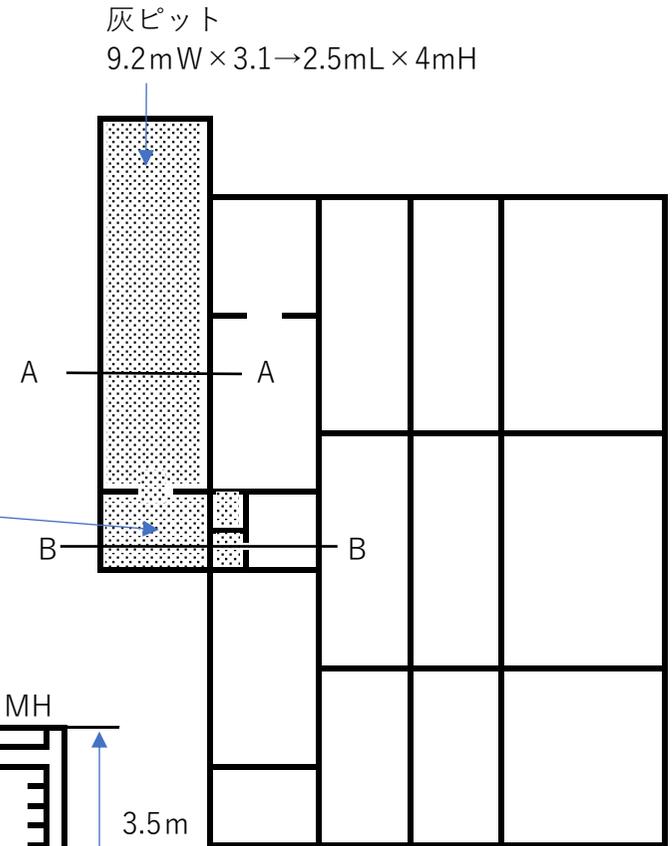
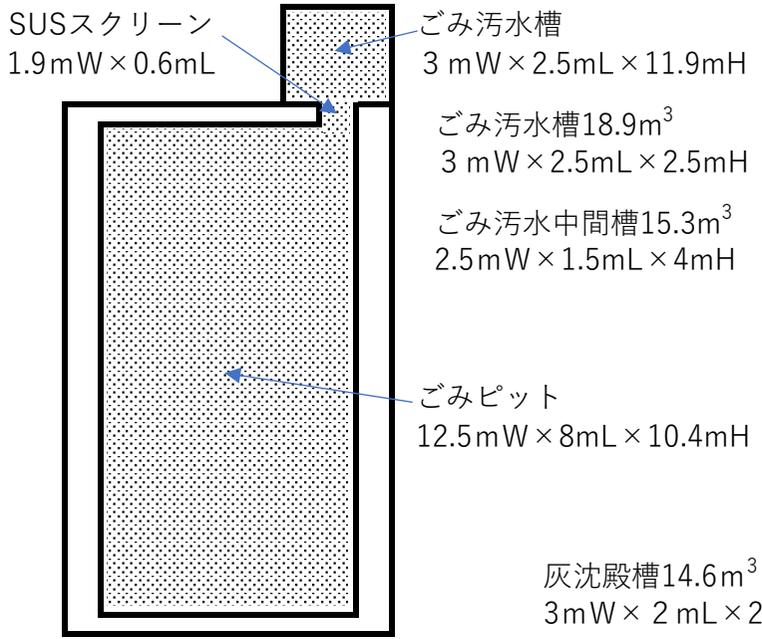
別紙1 清掃範囲図 (煙突頭頂部封鎖)



別紙2 灰処理清掃範囲図



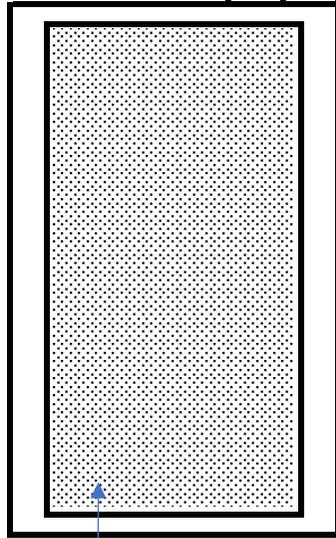
別紙3 地下平面对象箇所図



対象箇所

別紙4 1階平面对象箇所図

ごみ汚水中間槽15.3m³
2.5mW × 1.5mL × 4mH



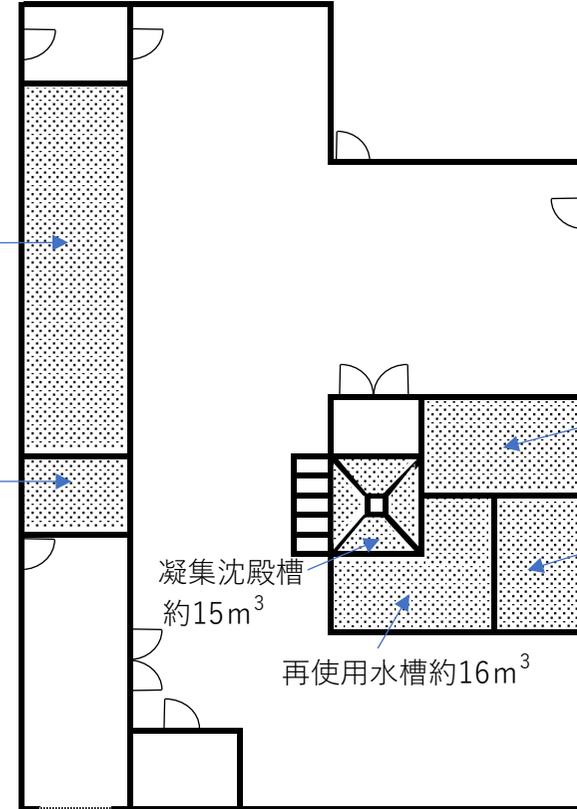
ごみ汚水槽
3 mW × 2.5mL × 11.9mH
ごみ汚水槽18.9m³
3 mW × 2.5mL × 2.5mH

ごみピット
12.5mW × 8mL × 10.4mH

灰ピット
9.2mW × 3.1mL × 4mH

灰沈殿槽14.6m³
3mW × 2 mL × 2.5mH

ポンプ室



凝集沈殿槽
約15m³

汚水受槽
約20m³

処理水槽 (空)

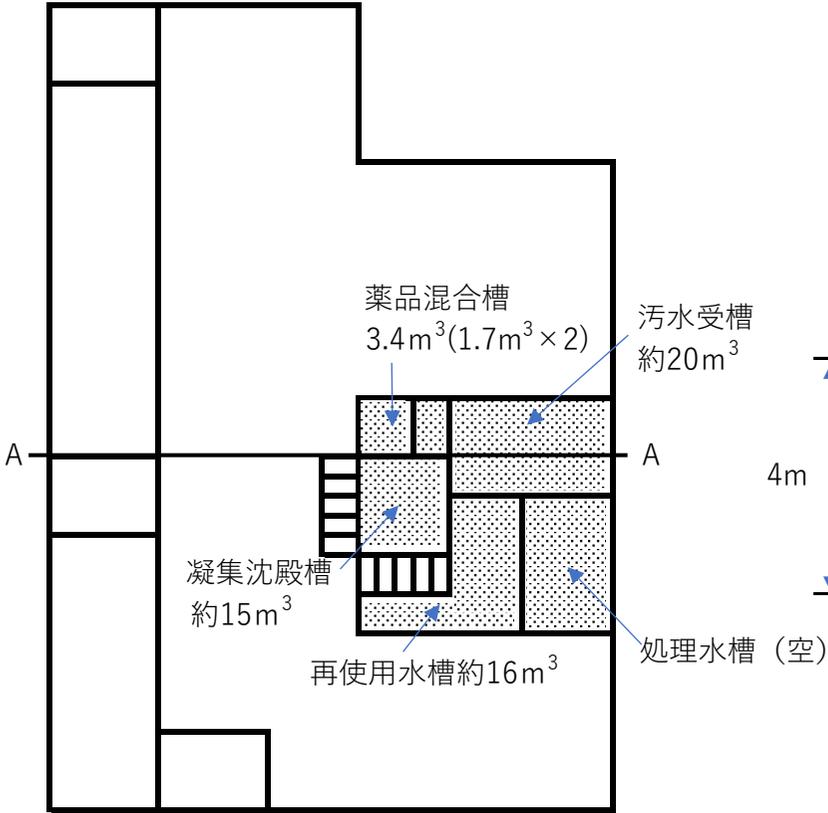
再使用水槽約16m³

シャッター

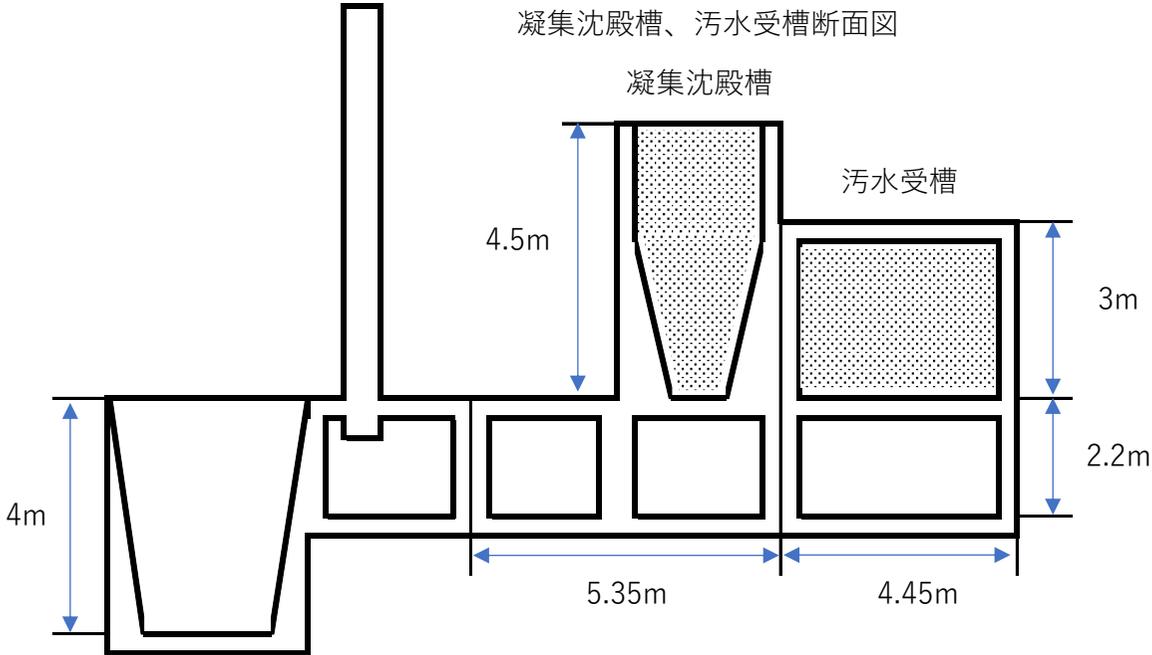
対象箇所

別紙5 ポンプ室2階平面・断面对象箇所図

ポンプ室2F



A-A断面
凝集沈殿槽、汚水受槽断面図



対象箇所

別紙6 ごみピット断面図

